

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2017年6月27日

- 2017年5月末までの当ファンドの過去1年間のパフォーマンスは、参考指数の騰落率を下回っております。
- 中長期の国内株式市場は、新たな市場の創出によるテクノロジー製品の需要拡大や東京オリンピック開催に向けた施策の本格化による国内経済の活性化などから、上昇基調を辿ることが期待されます。
- 今後も業績およびROE（自己資本利益率）の改善が続くと見込まれる銘柄へ選別投資を行い、パフォーマンスの改善に努めてまいります。

1. パフォーマンスの状況

2017年5月末までの当ファンドのパフォーマンス(分配金再投資基準価額の騰落率)は、国内株式市場の上昇などを背景に、いずれの期間においてもプラスとなっておりますが、参考指数の騰落率を下回っております。

特に1年前との比較においては、参考指数となるJPX日経インデックス400の騰落率を大きく下回っております。これは、2016年7月中旬以降、世界的な景気回復や円高の一巡などから企業業績への不安が後退し、株式市場が戻りを試す展開となるなか、組入比率を抑制的水準としていた輸出関連株や金融関連株などの株価が相対的に上昇する一方、業績の安定性が高い点に着目し、組入比率を高めとしていた消費関連株や医薬品株などの株価の上昇率が限定的なものにとどまったことが、主な要因と考えられます。

騰落率の状況（2017年5月31日現在）

騰落率	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	2.08%	1.47%	4.96%	3.12%	17.91%	20.22%
参考指数:JPX日経インデックス400	2.09%	1.66%	6.03%	12.24%	27.69%	30.84%

※騰落率は、1カ月前、3カ月前、6カ月前、1年前、3年前の各月の月末との比較です。

※設定日は、2014年4月24日です。

※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。また、参考指数の設定来騰落率は、設定日前営業日の終値との比較です。

※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。

※JPX日経インデックス400は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※JPX日経インデックス400の騰落率はBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。

JPX日経インデックス400の著作権等について

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所（以下、総称して「JPXグループ」といいます。）並びに株式会社日本経済新聞社（以下、「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「JPX日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て「JPXグループ」及び「日経」に帰属しています。当ファンドは、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ（愛称 匠の逸品）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2. 基準価額に寄与した主な銘柄（過去1年間）

2-1. JPX日経インデックス400構成銘柄

米国長期金利の上昇や世界的な株式市場の上昇が支援材料となった金融関連株などが、基準価額にプラスに寄与した一方、薬価引き下げなどによる業績への悪影響が懸念された医薬品株などが基準価額にマイナスに寄与しました。

主なプラス寄与銘柄

銘柄名	業種名	過去1年 株価騰落率
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	+28.5%
ディー・エヌ・エー	サービス業	+11.4%
東京海上ホールディングス	保険業	+26.4%
参考:JPX日経インデックス400		+12.2%

主なマイナス寄与銘柄

銘柄名	業種名	過去1年 株価騰落率
塩野義製薬	医薬品	▲3.9%
協和発酵キリン	医薬品	▲4.8%
ホシザキ	機械	▲7.4%
参考:JPX日経インデックス400		+12.2%

（期間）2016年6月1日～2017年5月31日

※過去1年株価騰落率は、各銘柄の2016年5月末の株価と2017年5月末の株価の比較で、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。

2-2. 新潟本社銘柄

世界景気の回復や円高ドル安進行による業績面での恩恵が見込まれた北越工業、国内長期金利の底打ちによる預貸金利ぎやの改善が期待された北越銀行などが、基準価額にプラスに寄与しました。

一方、既存店売上高の減速などから17年3月期は営業減益となったハードオフコーポレーション、当面の業績拡大が株価に織り込まれたと見られるスノーピークなどの株価下落が基準価額にマイナスに寄与しました。

主なプラス寄与銘柄

銘柄名	業種名	過去1年 株価騰落率
北越工業	機械	+55.0%
北越銀行	銀行業	+37.7%
田辺工業	建設業	+146.3%
参考:JPX日経インデックス400		+12.2%

主なマイナス寄与銘柄

銘柄名	業種名	過去1年 株価騰落率
ハードオフコーポレーション	小売業	▲14.6%
スノーピーク	その他製品	▲7.5%
福田組	建設業	▲15.1%
参考:JPX日経インデックス400		+12.2%

（期間）2016年6月1日～2017年5月31日

※過去1年株価騰落率は、各銘柄の2016年5月末の株価と2017年5月末の株価の比較で、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ（愛称 匠の逸品）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

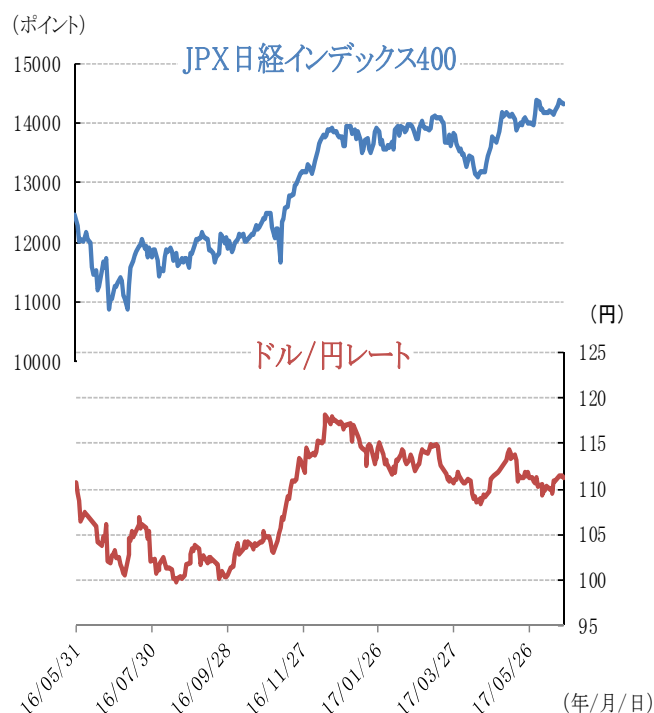
3. 投資環境と今後の見通し

3-1. 投資環境

国内株式市場は、世界景気の回復に加え、2016年11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏が掲げる政策への期待が高まるなか、2016年7月中旬から12月上旬にかけて上昇しました。その後、円高ドル安の進行や海外政治情勢の先行きに不透明感が広がる場面もありましたが、2017年4月下旬以降は、再び上昇基調に転じ、足元では上値を試す展開となっております。

この主な背景として、世界景気の持続的な改善期待に加え、17年3月期の日本企業の決算発表において、減収にもかかわらず最高益を更新する企業が相次いだことが挙げられます。生産性改善などの企業努力を通じ、日本企業が着実に収益力を高めていることが評価されたものと考えられます。

市場動向



(期間) 2016年5月31日～2017年6月22日(日次)

(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

3-2. 今後の見通し

当面の国内株式市場は、海外政治情勢の先行き懸念などから、短期的に値動きが荒くなる可能性があるものの、良好な海外経済や企業業績拡大への期待などに加え、日銀の上場投資信託(ETF)買入れなど需給面でも良好な環境が想定されることから、堅調な展開が続くと予想します。

また、中長期的には、①AI(人工知能)やIoT(Internet of Things、モノのインターネット)など新たな市場の創出によりテクノロジー関連製品の需要拡大が展望されるほか、②2020年の東京オリンピック開催に向けて、交通インフラの整備・補修、宿泊施設・レジャー施設の建設、観光振興、スポーツ振興など様々な施策が本格化することが予想されます。こうした新たな市場の創出や施策は、経済の活性化を通じて企業業績や株式市場に対してポジティブな影響をもたらすと考えられ、国内株式市場は中長期的にも上昇基調を辿ることが期待されます。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

4. 当ファンドにおける対応

4-1. JPX日経インデックス400構成銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄では、世界景気の回復などの外部環境の変化やファンドのパフォーマンスの状況などを踏まえ、昨年7月以降、輸出関連株や金融関連株などの組入比率を引き上げるなどの対応を行ってまいりました。今後は、国内外の経済動向や業種配分などに留意した運用を継続しつつ、業績およびROEの向上が期待される銘柄などの組入比率を引き上げる一方、好業績が株価に織り込まれたと見られる銘柄や今後の業績拡大余地が限定的と考えられる銘柄等の売却を行う方針です。

中長期的に有望と考えられる分野として、AIやIoTなど新しい市場で成長が期待されるテクノロジー株、賃金上昇や訪日外国人客数の増加などによる需要拡大の恩恵が見込まれる消費関連株などが注目されます。こうした銘柄のなかから、投資魅力が高いと考えられる企業の株式へ投資しております。

主な注目分野と組入銘柄（JPX日経インデックス400構成銘柄）

主な注目分野	背景	主な組入銘柄
テクノロジー	IoT(モノのインターネット)、自動運転、AI(人工知能)	ソフトバンクグループ、パナソニック、日本電産、東京エレクトロン
設備投資	FA(工場の自動化)、ロボット	ファナック、三菱電機、キーエンス、SMC
消費	賃金上昇、訪日外国人客数の増加	セブン&アイ・ホールディングス、花王、資生堂、ニトリホールディングス
インフラ	社会インフラの整備や更新に対する必要性の高まり	三井物産、三菱商事、日立製作所、大成建設

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

※上記は、2017年6月22日時点で組み入れている銘柄です。

※上記は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

4-2. 新潟本社銘柄

主な組入銘柄（新潟本社銘柄）

新潟本社銘柄では、株式の流動性に配慮しつつ、アクシアル リテイリングやアークランドサカモトなど国内で潜在的な成長余地があると考えられる企業や、亀田製菓や北越工業など特定の分野で高い市場シェアや競争力を有しており、国内外で成長が期待される企業などの株式の組入比率を高めとした運用を行っております。

銘柄名	銘柄概要
アクシアル リテイリング	食品スーパー「原信ナルス」や「フレッシュイ」を展開。エリアを絞った集中出店などに取り組んでいる。
北越銀行	長岡創業の新潟県を地盤とする地方銀行。2018年4月に第四銀行と経営統合し、持株会社を設立予定。
亀田製菓	国内米菓メーカー売上シェア首位。北米やアジアなど海外における米菓事業の成長に取り組んでいる。
北越工業	土木・建設現場などで使われるエンジンコンプレッサで国内市場シェア首位。アメリカやアジアでも事業を展開している。
アークランドサカモト	新潟県を中心にホームセンター「ムサシ」などを展開するほか、とんかつ専門店「かつや」など外食事業も手掛ける。

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

※上記は、2017年6月22日時点で組み入れている銘柄です。

※上記は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

今後も業績およびROEの改善が続くと見込まれる銘柄へ選別投資を行い、パフォーマンスの改善に努めてまいります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

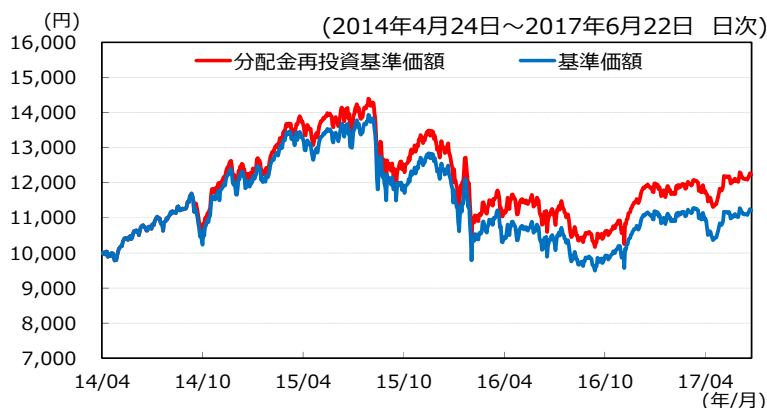


JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2017年6月22日)

■ 設定来の基準価額の推移



- (注) 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
(注) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
(注) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ ファンドの状況

基準価額	11,210 円
純資産総額	6,756,262,494 円
株式組入比率	94.7 %
組入銘柄数	149 銘柄

※基準価額は、1万口当たりです。

■ 分配金実績

決算日	分配金 (円)
2014年10月6日	200
2015年4月6日	200
2015年10月5日	200
2016年4月5日	200
2016年10月5日	0
2017年4月5日	200
設定来合計	1,000

※分配金は1万口当たり(税引前)です。

■ 組入上位10業種

	業種名	組入比率
1	電気機器	10.6%
2	小売業	9.1%
3	銀行業	8.1%
4	食料品	7.3%
5	機械	6.5%
6	輸送用機器	6.4%
7	化学	6.0%
8	情報・通信業	4.5%
9	建設業	4.1%
10	卸売業	3.8%

■ 組入上位銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

	銘柄名	組入比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.9%
2	ソフトバンクグループ	1.2%
3	セブン&アイ・ホールディングス	1.1%
4	東海旅客鉄道	1.1%
5	日本電信電話	1.0%
6	花王	1.0%
7	パナソニック	1.0%
8	本田技研工業	1.0%
9	KDDI	1.0%
10	プリチストン	0.9%

新潟本社銘柄

	銘柄名	組入比率
1	アクシアル リテイリング	2.1%
2	北越銀行	2.0%
3	亀田製菓	2.0%
4	北越工業	1.8%
5	アークランドサカモト	1.6%
6	日本精機	1.6%
7	北越紀州製紙	1.4%
8	ブルボン	1.3%
9	コロナ	1.3%
10	ハードオフコーポレーション	1.2%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品) ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、JPX日経インデックス400の構成銘柄(銘柄入替時の予定銘柄を含みます。)および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に注目します。
 - 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅に乖離する場合があります。
 - 新潟県関連企業とは、新潟県に本社(本店)を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
 - 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げる場合があります。
 - 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■ 本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客さま自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会

（金融商品取引業者）

岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
--------------	-----------------	---	--	--	--

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

岡三アセットマネジメント株式会社

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）